なんでもインフォ

2015. 12月

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23
E-mail　suzuki@showacd.co.jp
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～東日本大震災からの復興とスポーツ～

はじめに

東日本大震災から４年が過ぎましたが、今でも被災地では復興工事の様子が至るところで見られます。まだまだ多くの人々が仮設住宅で不自由な暮らしをしており、復興はまだ遠いと感じられます。

復興へ向けて

復興へ向けて様々な取り組みが行われておりますが、復興庁の公表によりますと（平成 27 年 9 月）、がれき処理は概ね完了。公共インフラの復旧は計画通りに進捗。学校施設、病院施設は 9 割で復旧となっています。急がれる課題としては高台移転による宅地造成、災害公営住宅があげられております。

特に被災地が抱える問題として、人口減少、高齢化、産業の空洞化が上げられます。そこで、町の賑わいを取り戻すために、地域を活かした新商品の開発、観光客の誘客推進、地域を支えていく人材の育成、子供の健やかな育ちを応援などの活動が必要となります。

釜石市では震災後の再建再生に取り組む中で、2019 年のラグビーワールドカップ誘致に取組み、ついに 2015 年 3 月 2 日に開催地に選ばれました！スポーツを取り込むことによって、沿岸被災地の活性化、地域の交流促進、地域の一体感や活力を生む等の様々な効果が期待されています。

スポーツを通じての社会貢献

プロのスポーツ選手や競技団体はイベントで被災地を訪問したり、チャリティで試合をしたりして、多額の寄付をしています。最近では一般の人もスポーツを通じてチャリティなどに参加することも定着してきたようです。今も昔も子供たちにとってプロのスポーツ選手というのは憧れの的です。地元出身のプロ選手が活躍すると、地域全体が大いに盛りあがります。子供たちがのびのびとスポーツに取り組み、成長できる環境が整備されることは大変良いことであると思います。

2019 ラグビーW 杯会場に



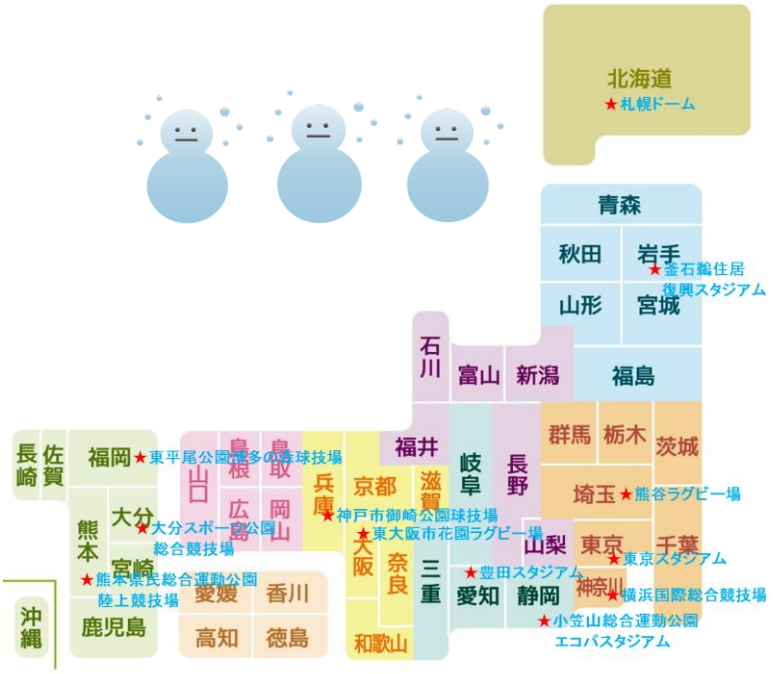
ラグビーワールドカップは、オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ世界三大スポーツイベントと言われています。日本ではあまり知られていませんが、200 を超える国・地域でテレビ放送され、40 億人が視聴すると言われています。2019 年はアジア初での開催となります。開催地の利点として、地域、観光の認知度アップにつながる。海外からの選手、観戦客による経済効果。国際的なスポーツ大会の経験など様々な効果が考えられます。

ラグビーワールドカップ2015イングランド大会での日本の活躍はまだ皆様の記憶に新しいと思います。これまで日本のワールドカップでの成績は 1 勝 21 敗 2 分で予選リーグを突破したことはありません。一方、南アフリカは世界 1 位が 2 回もあり、通算成績は 25 勝 4 敗。日本が南アフリカに勝利したのは本当に凄いことです！南アフリカ、スコットランド、日本が 3 勝 1 敗で並びましたが、惜しくも勝ち点差で 1 次リーグ敗退が決まりました。

ラグビーW 杯開催は 12 会場

2015 年 3 月 2 日に試合の開催都市が発表され、12 都市で開催されることが決定されました。開催会場は以下の通りです。

- ★ 北海道札幌市　札幌ドーム　収容人数 41410 人
- ★ 岩手県釜石市　釜石鵜住居復興スタジアム　収容人数 16187 人（予定）
- ★ 埼玉県熊谷市　熊谷ラグビー場　収容人数 24000 人
- ★ 東京都調布市　東京スタジアム　収容人数 49970 人
- ★ 神奈川県横浜市　横浜国際総合競技場　収容人数 72327 人
- ★ 静岡県袋井市　小笠山総合運動公園エコパスタジアム　収容人数 50889 人
- ★ 愛知県豊田市　豊田スタジアム　収容人数 45000 人
- ★ 大阪府東大阪市　東大阪市花園ラグビー場　収容人数 30000 人
- ★ 兵庫県神戸市　神戸市御崎公園球技場　収容人数 30312 人
- ★ 福岡県福岡市　東平尾公園博多の森球技場　収容人数 22563 人
- ★ 熊本県熊本市　熊本県民総合運動公園陸上競技場　収容人数 32000 人
- ★大分県大分市　大分スポーツ公園総合競技場　収容人数 40000 人



終わりに

開催会場に選ばれた地域にとって日本全国、世界中の人々にアピールできるまたとない機会です。また、開催地の人だけでなく、都道府県、日本全体が一体となり盛り上げていくことができれば、より大きな効果が得られることでしょう。被災地での開催は釜石だけですので、震災を風化させないことにも繋がると思います。是非多くの人に来ていただき、岩手の良い所をたくさん見て頂きたいものです。

参考　復興庁HP、釜石市HP、日本ラグビーフットボール協会HP

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は、道路・河川・橋梁等の計画・設計、GIS、IT ソリューション等の業務を行っております。
”なんでもインフォ“のバックナンバーについてはhttp://www.showacd.co.jp をご覧ください

配布者

作成者：コンサルタント事業部